



我妻とくお議会レポート

No. 68

ゆきしろ

我妻徳雄事務所

米沢市大字口田沢1308-2

TEL. FAX 0238-31-2212

メール waga1308@ms3.omn.ne.jp

12月議会

生物多様性の保全

地球温暖化防止に相互効果

12月定例会（議会）の一般質問において「地球温暖化と生物多様性」「大規模自然災害時の個別避難計画の作成」「米沢市学校給食基本方針」について質問しました。

また、総務文教委員会で審議されました「沖縄戦戦没者の遺骨等が含まれた土砂を埋め立て等不使用しないよう国に求める意見書の提出に関する請願」の採択に尽力しました。

陸の豊かさを守ろう！

「とくお」人類が生存するために欠かせない生物多様性が、地球温暖化の影響などにより、急激に失われつつあります。生物多様性の保全や再生は、気候変動対策に相互効果をもたらすと考えられます。多様な生物が生息、生育できる豊かな生態系を確保するために、本市はどのような取組を行っているでしょうか。（裏面参照）

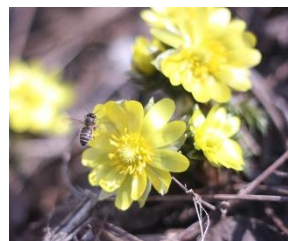
行計画」により、温暖化対策を進めていきます。

また、動植物や微生物など多種多様な生き物が、共存する環境の保全のために農地や森林の整備を効果的に実施していきます。「SDGs未来都市」に選定された本市として、SDGsが目標に掲げる『陸の豊かさを守ろう』を実践し、生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進を図っていきます。



「地球温暖化実行計画」の見直しに市民参加を

「とくお」地球温暖化防止は、私たち一人ひとりが実践していかねばならない大きな課題です。本市が昨年行った「ゼロカーボンシティ宣言」を実効性のあるものにしなければなりません。そのためには、多くの市民の方々に、計画見直し作業に参加していただき、温暖化の実態を公表し、意見を生かした実効性のある「地球温暖化対策実行計画」の見直しが必要ではないでしょうか。



「市民環境部長」現在、本市の将来の温室効果ガス排出量の推計など、導入目標策定のための調査に取組んでいます。その内容を踏まえ、令和5年度に「地球温暖化対策実行計画」の見直しを行います。ゼロカーボン達成に向けた取組を行っているには、市民一人ひとりが同じ方向を向いていく必要があります。計画見直しに当たっては、環境審議会やパブリックコメントの実施のほか、市民の声を効果的に反映する手法について研究します。

「地球温暖化と生物多様性」を考える

我妻とおお 一般質問から

森林などの豊かな自然環境が育む生物多様性は、人類が生存するために欠かせない様々な恩恵をもたらしています。しかし、地球温暖化の影響などにより、生物多様性が急激に失われつつあります。森林や草原、農地などの減少は二酸化炭素の吸収機能の低下を招きます。森林生態系の減少や、劣化が地球温暖化を加速させることにつながります。生物多様性の保全や再生は、気候変動対策にも効果をもたらすと考えられます。

本市は最上川の源流に位置し、自然環境に恵まれています。そこに生息してい

ライフスタイルを考えては？

動物植物の生息環境の把握や、保護・保全に努め、必要に応じてその回復を図る必要があります。

生物多様性の減少は生態系システムの崩壊を導き、人間にとって住みにくい環境を生み出すと考えられます。人間自身が最も自然生態系に依存しており、その恩恵なくしては生存できません。生物多様性保全のために、環境への負荷を低減させるライフスタイルを考えてみてはどうでしょうか。



「個別避難計画」作成に専門職が協力

「とおお」近年の大規模自然災害において、高齢者や障がいのある方が多く犠牲となっています。地域で暮らす人たちの中には、避難するために支援の必要な方がたくさんおられます。

改正災害対策基本法では、市区町村は高齢者や障がいのある方など、支援の必要な方が避難するための個別避難計画の作成が、努力義務となっています。その作成にあたっては、町内会や民生委員児童



委員、そして福祉専門職のケアマネジャーや、相談支援専門員などの関係者が連携して進める必要があります。国はその予算も準備しています。「個別避難計画」の作成をどのように進めるのでしょうか。

「健康福祉部長」「個別避難計画」の作成には、対象となる避難行動要支援者の範囲や作成の進め方などを定めなければなりません。また、計画作成には、福祉や介護などの専門職の方々や、地域の方々など、様々な方の協力が必要です。協力いただく方の関わり方も含め、より具体的な進め方を検討します。高齢者や障がいのある方など、支援の必要な方々が、安心して避難できるように、実効性のある「個別避難計画」の作成に努めていきます。

一般質問の様子は米沢市議会のホームページから映像で見ることができます

●..... どうだべなあ●

▼昨年末から降雪が続き道路脇の雪の壁も、ここ数年に比べ高い気がする。この原因としてラニーニャ現象による影響が大きいといわれている▼産業革命以降、世界の平均気温は約1度上昇した。地球温暖化が進行すると、気象はエルニーニョとラニーニャの二つの極端な現象の間で揺れ動く。振れ幅が大きくなり気象が激甚化するということが▼しかし、これらの研究に対して嘘だと主張する科学者や政治家もいて、世界が一致して温暖化対策に取り組んでいくとはなり切れていない▼豊かな地球の恩恵を受けてきた我々世代には、それを子や孫たちの世代に引き継いでいく義務がある。もう時間はない。今の生活を変えていかなければならない(雅)

我妻とおおのホームページ

<http://www.3.omn.ne.jp/~waga1308/>

議員活動を公開